

### 応用製剤例

乳液、クリーム

### ペリセアの機能

◎	スキンケア機能
	ヘアケア機能
	オイルゲル形成機能
	乳化分散能

ペリセアを乳液・クリームでご使用いただく場合は次の2つの使用方法があります。

1. スキンケア機能を応用
2. 乳化機能とスキンケア機能を同時に応用

このシートでは、1. スキンケア機能の応用についてご紹介します。

### 特長

- ・ ペリセアのスキンケア機能を応用したクリームが処方できます。
- ・ 角層内部に浸透し、細胞間脂質でラメラ液晶構造を形成。傷んだ肌を健康な肌へと修復します。
- ・ セラミドよりも角層への浸透性に優れます。
- ・ 優れた使用感(保湿感・浸透感)が得られます。

### 効果

- ・ 傷んだ肌の角層水分量やTEWLを回復させます。
- ・ 肌のキメ・弾力を回復させます。
- ・ 優れた使用感(保湿感・浸透感)が得られます。

### 推奨グレード・推奨配合量

- ・ ペリセアLB-10 1.0%
  - ・ ペリセアL-30 0.3%
- ペリセア固形分として0.1%

### 処方上の注意点

- ・ ペリセアは塩類ですので、カルボマー等の増粘剤を併用される場合は、耐塩性グレードを推奨します。耐塩性グレード以外では粘度低下を起こす可能性があります。

### ペリセアのグレードラインナップ

品名	ペリセアLB-10	ペリセアL-30
表示名称	ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (10%) BG (10%) 水 (80%)	ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (29%) 水 (71%)
荷姿	18kg缶	1kg缶、18kg缶

## 代表的な関連データ

### 肌のキメの回復

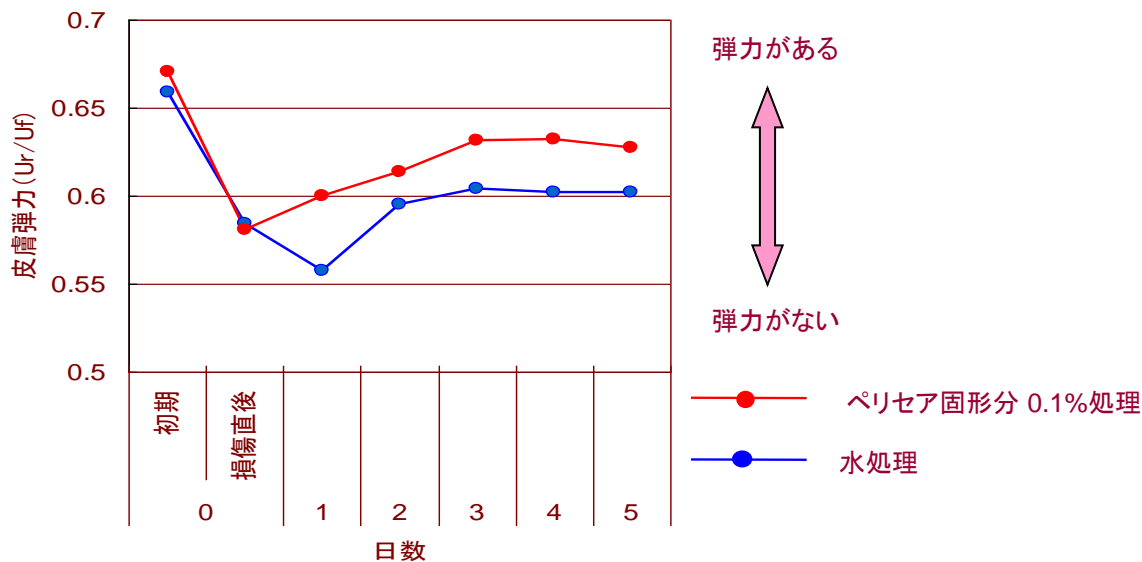
ペリセア塗布(固形分濃度0.1%)により、皮膚のバリア機能を速やかに改善し、肌のキメを回復させます。



荒れ肌作成(ヤシ油脂肪酸カリウム石鹼33%水溶液を1時間閉塞貼付)後、ペリセア固形分濃度0.1%水溶液を1日2回塗布して観察した。

### 肌の弾力の回復

ペリセア塗布(固形分濃度0.1%)により、皮膚の弾力の回復も確認されます。



試験条件(前腕内側部): 荒れ肌作成後(脂肪酸カリウム石鹼処理)、0.1%試料水溶液を1日2回塗布して弾力の推移を確認。塗布量: 2 $\mu$ L/cm<sup>2</sup>, 装置名: CUTOMETER MPA580, 測定モード1 (Measurement in Mode1), 吸引時間(The Suction time): 2秒間, 解放時間(The Relaxation time): 0.1秒間

## 処方例

クリーム処方を検討中です。出来次第、ホームページやメールマガジンでお知らせします。